

## I 事業概況

### 【0】基本方針・重点課題と成果

1. JEI 創立 100 周年にあたり、その 100 年の歴史を踏まえて新たな発展の 100 年への道を模索し、中長期的な視野のもとに事業を進めた。
2. JEI 創立 100 周年記念事業を推進した。『日本エスペラント協会 (JEI) 100 年史』編集・発行、『*La Revuo Orienta*』(RO 誌) 全号の電子化など。また JEI 創立 100 周年記念第 106 回日本エスペラント大会を開催したが (10 月、さいたま市にて)、台風の影響により日程、プログラム大幅短縮を余儀なくされた。
3. 多言語・多文化共生時代に、エスペラントがどのように貢献できるかを考え、取り組みを進めた。「エスペラントの日」記念公開講演会の実施など。

### 【1】エスペラント普及事業

(担当：普及推進部)

#### 【1.1】基本方針と成果

1. 国内外のエスペラント組織と連携し、エスペラントについて知らせ、エスペランティストを増やす普及活動を行った。
2. 広域団体会員、地域団体会員、専門団体会員、また個人会員との連携を強化し、会員以外の団体、個々のエスペランティストとも協働の輪を広げ運動の発展を図った。
3. 広報委員会の活動を軸として一般への効果的なエスペラント広報活動を進めた。

#### 【1.2】エスペラント普及推進事業

1. エスペラント運動の現状把握  
「2018 年エスペラント運動年鑑」を RO 誌 4 月号大特集として発行した。また「2019 年エスペラント運動年鑑」のための情報提供を受け、RO 誌 2020 年 4 月号大特集として発行した。
2. 各エスペラント団体の連携強化、活動支援に努めた。  
(1) 地方エスペラント大会 (7 大会) に理事長挨拶を送り、6 大会に理事が出席した。  
(2) 「エスペラント会懇談会」のメーリングリ

スト (FLES) が情報共有、経験交流の場として有効に機能した。

3. 小坂賞：田平正子への授賞を決め、日本エスペラント大会で授与した。
4. 青年エスペラント企画支援金：1 件支援、7790 円
5. 会員の拡大、定着：団体会員 2 団体減 (56 団体)、個人会員 29 人減少 (994 人)。個人会員の内、新入会員 71 人、電子版会員 46 人、青年会員 45 人 (2020 年初、新入会員は年度合計)。
6. 2018 年 6 月より 2020 年 3 月までの入会に限り特別割引を行う入会キャンペーンを JEI 創立 100 周年記念事業の一環として行い、キャンペーン中の入会増につながった。キャンペーン期間中の新入個人会員は計 122 人。
7. 世界エスペラント協会による広報に協力し、「国際母語の日」(2020 年 2 月 21 日) の日本語版およびアイヌ語版広報資料の作成を行った。

#### 【1.3】エスペラント広報事業

1. 第 3 回エスペラント紹介動画コンクールを実施し、6 件の応募作品の内、優秀賞 1 点、奨励賞 2 点について日本エスペラント大会で表彰し、表彰作品を本会ユーチューブチャンネルに公開した。
2. 広報委員会を計 7 回開催した (いずれもスカイプで)。
3. ニュースリリース「エスペラントの今」を 3 回発行。6 月 1 日に No.17 「多言語、多文化共生とエスペラント」、10 月 1 日に No.18 「いま、国際協力の言語とは？—グローバル社会の課題と言語の役割」、2020 年 2 月 4 日に No.19 「ポリグロット (多言語話者) コンフェレンス」を発行した。
4. 東京のお台場での「グローバルフェスタ 2019」へ 9 月 28 日、29 日に出席した。「活動報告」コーナーでは報告を、展示ブースでは「5 分間ミニ講座」などを行い、多くの若者が訪れた。
5. 「エスペラントの日」(6 月 12 日) につき本会ウェブサイト等で広報を行った。

6. フェイスブック、ツイッターなどの本会アカウントで積極的に情報発信をした。
7. 「ゼロから始める動画作成体験講座」を5月11日にエスペラント会館で実施した。講師 J-MENT 氏で7人が参加した。

## 【2】エスペラントを用いた国際交流事業

(担当：国際部)

### 【2.1】事業の方針と成果

1. エスペラントによる国際交流事業を、特に世界エスペラント協会 (Universala Esperanto-Asocio = UEA) の日本における国別代表組織として推進した。UEA のアジア・オセアニア委員会 (Azia-Oceania Komisiono = KAOEM)、日本の UEA 委員、UEA-delegito (都市代表者) と協働した。
2. 日本のエスペランティストが行うエスペラントによる国際交流事業を支援した。
3. 外国のエスペランティストに日本国内のエスペラントによる国際交流事業への参加を促した。

### 【2.2】国際交流事業

1. 第104回世界エスペラント大会 (Universala Kongreso de Esperanto=UK、7月20日～27日、フィンランドのラハティ)
  - (1) 参加旅行団企画に協力した。同旅行団へは16人(+添乗員)が参加した。
  - (2) Movada Foiro (運動フェア) に出展した。
  - (3) UEA-A 委員1人が UEA 委員会に出席した。
2. KAOEM、アジア関連
  - (1) 第9回アジア・オセアニア・エスペラント大会 (ベトナムのダナン 4月29日～5月3日) 参加グループ旅行企画に協力し、同旅行グループへ14人が参加した。
  - (2) KAOEM 新委員長に日本の KAOEM 委員の西永篤史が選出された (任期 2019～2022年)。
  - (3) KAOEM の *Esperanto en Azio kaj Oceanio* の編集・発行に協力した (4回)。
  - (4) 第51回韓国エスペラント大会 (10月5日～6日) に招待され、理事が出席した。
3. その他
  - (1) 国際文通サービスを継続して実施し、7件を仲介した。
  - (2) 青年エスペランティスト国際行動支援金については4人へ供与した (計 237千円)。

### 【3】エスペラント研究教育事業

(担当：研究教育部)

### 【3.1】事業の方針と成果

1. 教育部門においては、エスペラント学習者の語学力向上の支援、教材や資料の提供、学校を含むエスペラント界外でのエスペラント教育に関連する事業の支援等に取り組んだ。
2. 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展・増強を目指したが、充分ではなかった。
3. ハヶ岳エスペラント館を本会の研修施設として活用し、エスペラント運動に資した。
4. 事業活動の円滑な推進のためには、それらの活動を担う人材の確保と効果的な業務分担が不可欠であるという観点から、研究教育部員および試験委員の募集に努めたが、充分ではなかった。

### 【3.2】研究教育事業

1. エスペラント中級セミナーを6月22日～23日に国立女性教育会館 (埼玉県嵐山町) で実施し、16人が参加した。
2. 各種試験
  - (1) エスペラント学力検定試験は、5月に名古屋市で2人、6月に東京都で3人、11月に札幌で3人、12月に東京都で9人が受験した (計17人)。10月の日本大会 (さいたま市) は台風による大会の部分中止のため、2020年3月の東京都は新型コロナウイルス感染症蔓延のため、それぞれ中止となった。
  - (2) UEA の主催する KER 試験 (Komuna Eŭropa Referenckadro、ヨーロッパ言語共通参照枠 CEFR 準拠のエスペラント試験) を6月にエスペラント会館で実施し、6人が受験した。
3. 「学校に緑の風を」基金から、広報冊子190部の寄贈を (2大学でのロシア人エスペランティスト、M・ブロンシュテイン講演関連) 実施した。
4. ウェブサイトでの講座「ウェブ版ドリル式エスペラント入門」の学習支援を継続して行った。
5. エスペラントの語学的概要を紹介する「15分でわかるエスペラント講座」を作成した (本会ユーチューブチャンネル公開は2020年5月)。

6. 文芸コンクールを実施し、8件の応募から4件の入賞作品を選び、日本エスペラント大会で表彰した。
  7. 日本エスペラント大会で研究発表会を開催(7件の発表)し、『2019年度日本エスペラント協会研究発表会予稿集』を発行した。
  8. 日本エスペラント大会で中止になった公開シンポジウム「グローバル社会の課題と言語の役割」につき誌上シンポジウムとしてRO誌2020年2月号に掲載した。
  9. 多言語・多文化共生時代に適応した新たなエスペラント教育の検討に着手するには至らなかった。
  10. エスペラント学習サイトLernu!の文法項目の翻訳率改善に向けて、外部の有志と意見交換をしたが、具体的な検討には至らなかった。
  11. JEI創立100周年記念事業の一つとして『RO誌全号閲覧・目次検索システム』を完成させた(2020年5月に本会ウェブサイト会員ページに掲載)。
- 【3.3】ハケ岳エスペラント館における事業**
1. 4月7日に開館し、11月8日の閉館までの間、延べ宿泊利用者数は、運営委員を含め536人であった。
  2. 昨年度よりの寄付体系を引き続き実施した。
  3. 運営は運営委員14人の体制で行い、円滑な運営ができた。新規ライセンス取得者は3人。
  4. 開館25周年に伴い、三つ折りチラシを更新し、また日本エスペラント大会で写真展示を実施した。
  5. 4月に「春のハケ岳エスペラント館の日」を、9月に「秋のハケ岳エスペラント館の日」を実施し、それぞれ17人の参加があった。
  6. 8月に「エスペラント漬け合宿(NEK)」を実施し、17人が参加した。
- 【4】エスペラント雑誌の刊行事業**  
(担当：編集部)
- 【4.1】事業の方針と成果**  
雑誌『エスペラント／La Revuo Orienta』(RO誌)を年11回発行し、エスペラントの普及発展に資した。
- 【4.2】雑誌刊行事業**
1. RO誌を毎月(8、9月は合併号)刊行した(電子版、音声版を含めて)。発行部数は年度

- 当初は1300部、年度最終は1200部。
2. 他部門と連携し、大特集号を発行した：4月大特集(2018年エスペラント運動年鑑)、2020年1月号大特集(第106回日本エスペラント大会報告書)。また、第106回日本エスペラント大会時に予定されていて中止となったシンポジウム「グローバル社会の課題と言語の役割」については、2020年2月号に誌上シンポジウムとして掲載した。
  3. 編集会議を10回実施した。
- 【5】エスペラント図書等の刊行及び頒布事業**  
(担当：出版部)
- 【5.1】事業の方針と成果**
1. エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行った。
  2. 内外のエスペラント図書を仕入れて販売した。また内外のエスペラント雑誌購読を取り次いだ。
- 【5.2】図書刊行事業**
1. 図書の発行
    - (1) 埼玉エスペラント運動史・編集委員会編『埼玉県エスペラント運動史』を出版した(10月)。
    - (2) 『エスペラント日本語辞典』の電子辞書化について検討を進め、ロゴヴィスタ(株)にデータを提供し、同社が『LogoVista電子辞書シリーズ エスペラント日本語辞典第2版』を発行した(10月)。
    - (3) 『日本エスペラント協会(JEI)100年史』の編集をJEI100年史編集委員会が進め(編集会議8回、通算12回開催)、発行した(完成配付は2020年5月)。
  2. 今後の出版物の計画
    - (1) 新日本語エスペラント辞典編集委員会を3回(通算12回)開催した。
- 【5.3】図書頒布事業**  
エスペラント書籍・雑誌の販売、取次ぎを行った。
- 【6】エスペラント大会主催事業**  
(担当：大会組織部)
- 【6.1】事業の方針と成果**  
2019年の日本エスペラント大会を開催し、また同大会を毎年継続して各地で開催できるよう大会開催候補場所の検討、交渉を進めた。

## 【6. 2】日本エスペラント大会主催事業

1. 第106回日本エスペラント大会を開催した。
  - (1) 開催日程：2019年10月12、13、14日（土、日、月祝）。12日は終日、台風19号のためプログラムを中止した。13日午前よりサロン、展示等を開始し、プログラムを大幅変更、短縮して実施した。公開プログラムはすべて中止した。
  - (2) 会場：埼玉会館
  - (3) 共同主催団体：埼玉県エスペラント連絡会。
  - (4) JEI 創立100周年記念大会の記念講演を行った。シンポジウムは中止となった
  - (5) 大会テーマ：エスペラントがひらく世界～わかりあいのその先へ／La mondon malfermas Esperanto – Interkompreno kaj pluen。
  - (6) 参加者：459人（不在参加は59人、外国より36人）。台風により実出席は235人となった。
  - (7) 本大会では不参加者、不提供サービスの実費は払い戻したが、参加費は払い戻さないこととした。
  - (8) DVD『RO 誌百年百号』、書籍『埼玉県エスペラント運動史』および瑛九の絵葉書2点を記念品として発行、配付した。
2. 第107回日本エスペラント大会を2020年9月20日（日）～22日（火・祝）にWINC あいち（名古屋市）で開催することを決定した。大会テーマは“「愛」と「知」を奏でよう！－日本のまんなかで－ Sonoru amo kaj saĝo el la mezo de Japanio”。第106回大会中にLa 1-a Informiloを配布、参加受付を開始した。共同主催団体：第107回日本エスペラント大会名古屋委員会（名古屋エスペラントセンター協力）。
3. 第108回日本エスペラント大会の開催地を探し、2021年9月広島での開催を決定した。共同主催団体は広島エスペラント会。

## 【7】その他事業及び法人の管理

（担当：総務部、財務部、ウェブ管理部）

### 【7. 1】基本方針と成果

1. 本会のエスペラント事業の核となる会員の活動を支援し、会員数の維持・拡大に努めた。
2. 各事業部門と連携し、事業が円滑に行われるよう支援した。

3. 本会のより効果的な管理・運営方法の見直しと確立に取り組んだ。

### 【7. 2】総務部担当事項

1. 総務部の職務（庶務、会員管理、エスペラント会館管理活用、役員支援等）を事務局及び関連委員会（選挙管理委員会、小坂賞委員会）の協力を得て、着実に実行した。
2. 事務局の課題には、財務部とともに事務局会議を4回開き対応した。
3. JEI 創立100周年記念事業の一環として、図書館（収蔵図書の本誌データ等）の整備を進めたが、データ入力までには至らなかった。
4. 日本エスペラント大会と「エスペラントの日」講演会を利用して、図書販売を行った。
5. 国際部と協力し、第104回世界エスペラント大会（フィンランドのラハティ）向けの旅行団を企画し、旅行社が実施した。また、第9回アジア・オセアニア大会（ベトナムのダナン）へのグループ旅行を企画し、実施した。
6. 6月16日に第8回「エスペラントの日」記念講演会を開催し、64名が参加した。後日、講演の一部を本会ユーチューブチャンネルで公開した。
7. 本会事業の継承ができるよう運用を開始した情報保管庫（ドロップボックス）の利用を進め、理事・協議員全員が支障なく利用できるよう支援した。
8. エスペラント会館の耐震診断について、新宿区に相談し、予備的診断を受けた。

### 【7. 3】財務部担当事項

1. 公益目的支出計画および長期予算計画との整合を取りつつ、本会事業の執行を財務面から支えた。中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図るため、一般財団法人移行以後の財務状況を分析し、今後の課題抽出を行った。

### 【7. 4】ウェブ管理部担当事項

1. 本会ウェブサイトにて、広報、情報公開、会員サービスなどを行った。フェイスブック、ツイッターも活用した。
2. 2019年8月にウェブサーバ、メールサーバをさくらインターネットに切替え、ウェブサーバの常時SSL化を実施した（https化）。
3. 個人会員専用ページ（パスワード保護）を拡張し、掲示板を設置した。

## II 庶務事項

### 1. 会議の開催

- (1) 評議員会：6月16日
- (2) 理事会：5月19日、2020年3月22日
- (3) 業務執行理事会：9月8日、2020年1月19日
- (4) 副理事長会：4月18日、7月11日、11月14日、2020年2月13日
- (5) 監査：5月18日
- (6) 協議委員会：5月19日、2020年1月19日

(7) 会員総会：10月14日、第106回日本エスペラント大会にて

2. 会員：1050（2020年初、個人会員994、団体会員56）

### 3. 役員・職員等の人事

(1) 評議員：向後千春辞任、中山緑が補欠より就任。

(2) 職員：谷羽美紀が2020年3月24日より会計担当非常勤職員として就業。

(以上)



「国際母語の日」のアイヌ語広報資料（ローマ字版とカナ版）  
 （項目【1.2】7関連）